

會 告

■其後の入會者左の如し

埼玉縣南埼玉郡鷲宮村大字鷲宮

贊 本 多 金 藏

高松市田町一五八

贊 平 井 爲 成

芝區愛宕町一丁目二番地

贊 川 原 睦 次 郎

■正會員及贊助會員にして正會員希望の諸君は自己最近の寫生畫一葉宛三月末日迄に提出せられたく正會員はハガキ大にて可なるも後者は半紙半切大以上に限り候作の數は制限無之候へ共この分は返送の需に應じ不申候

■繪ハガキ競技會は四月頃催し可申候題は次號に出すべく候又會費前金拂込の諸君は本誌代御送金の時御差引下され度候

■水彩畫講習所新築費寄附申込期限は前月二十日迄の處、かくては申込勧誘共年始に際し不都合多ければ延期せられたま旨所々より御申込有之候間、協議の上更に三月二十日迄延期致候間奮く御應募下され度候。

■右講習所は建築の計畫も相立ち敷地も粗は相定まり候に付、近々工事に着手致すべく筈に御座候。

■應募者諸君のうち、畫題に御好みある分

は自然執筆上手間取り、御拂込後二ヶ月以内に御送付致す事能はざるやも知れず、可成勉強致すべく候へ共概め其邊御含み置下され度候。

■本會夏期講習會は、八月頃大阪市附近に於て開催する計畫あり、關西地方の諸君はなるべく出席致されたく、今より御準備有之度候。猶一部は上州若くは信州地方にて開催の筈に御座候。

評

◎畫道一斑 全 中村不折著

小石川區久堅町 日本葉書會

四六版二九〇頁、總クロス綴八十五錢現時洋畫界一方の將たる中村氏の著述にして、先づ美術の定義より初めて構圖、色彩其他あらゆる技術上の注意を網羅し、繪畫史及流派に迄説及ぼし、猶附録として寫生旅行の注意、過去一千年間の有名なる畫家の人名録、及生死年表、東西名匠遺訓等を載せたり。所説極めて穩健に、文章簡にして要を得たり。現今洋畫に關する著書其數少なからずと雖も、皆獨案内手引艸の類にして。繪具用筆等の末に走り、根本より解釋を下して繪畫の何者たるかを教ゆるもの殆どなし、此書は山の色水の描法を説かさざるも、夫等を知る前に心得置かねばならぬ大切の事項を説明し指示しあれば、苟も筆

を手にせんとするものは一讀多大の利益を得べし、加ふるに三十葉の口繪は參考品として又大なる價值あり、余はかゝる眞面目なる美術書の出版を歓迎し、併せて本誌讀者の一讀を勸む(T、O生)

◎漫畫一年 全 小杉未醒著

京橋區銀座三丁目 佐久良書房

著者小杉氏は當今畫界の一奇才なり、殊にコマ繪に於て優に一頭地を抽けり、此書近事畫報を賑はしたる一年間の諸作數百圖を集め一卷となせしもの、畫には一々文壇諸家の贊あり、合せ見ば興の盡くる期あらざるべし。猶毛筆線畫を學ばんとする士には好參考書たるべく、粧釘極めて美なれば書架を飾るに適すべし

◎畫紙水張用縁貼紙

神田區表神保町 文房堂

極めて便利なるものにて旅行中など殊に妙なり、但幅は五分にては廣過て邪覽になり、又價一尺三厘は不廉にして學生用になり難し、今少し廉價に出來ぬものによ取て發賣元に御相談申す

* * * * *